

## AirQuality リポート 北海道編

～全国初「化学物質過敏症のための寮&お菓子工場」で

ダイアトーマスを採用！北海道に行ってきました！～

### 北海道へ

8月。北海道倶知安で、全国で初めて就労困難な「化学物質過敏症に対応した菓子工場兼従業員寮」の建設を通気断熱WB工法で建設され、全ての内装に「ダイアトーマス」を採用していただきました。この取り組みは、ニセコ町で菓子店を経営する3代目社長藤井千晶さんが、夫隆良さんが「化学物質過敏症」（以下MCS）を発症したことをきっかけに「MCSをもっと知ってもらいたい」という思いからカナリアアップを設立。その後もSNSでの情報発信、呼びかけにより全国に輪が広がり実現したプロジェクトです。

竣工から1ヶ月半後の9月、藤井夫妻とMCS発症者のスタッフさん2名施工業者の丸太ん坊さんを訪問しました。そこで皆さんが様に口にしたのは「まさか自分が」という言葉でした。症状は頭痛、めまい、発熱、吐き気、倦怠感など様々で、症状の辛さもさることながら、症状の程度に客観的な判断基準がなく、第三者からの理解を得辛いこともMCSの発症者の苦悩であると感じました。



インタビューの一部をご紹介します。

Q:北海道に来た時の体調、症状を教えてください。

A:お店の外に車が1台通っても、排気ガスが怖く息を止めます。目の前の道を渡ることも困難です。

A:宅配便の荷物の受け取り時に、宅配業者の柔軟剤のニオイで頭痛や吐き気倦怠感で数時間起き上がれなかったこともありました。そんなことが日常なんです。

Q:この工場と寮で生活をはじめて、何か変化はありましたか？

A:まず、寮に入ったときに目の痛みがなく空気が違うと感じました。そして、朝起きた時にいつものだるさがなく「体が軽い」と感じたんです。

A:3年ぶりにマスクを外して就寝出来たこと。それが本当にうれしい！



実際に問題を抱えている方の生の声を聴け、またダイアトーマスがお役に立てたこと、大変うれしく思います。AQリポート vol. 2でも発信しましたが、2月に東京で行われた健康・省エネシンポジウムでもMCSは増加傾向にあると発表されています。これは他人事ではなく私たちの周りには香りで溢れかえり、それが健康に害をもたらしている現実があるのです。EVERWALLは健康で安心できる建築の推進のため、今日も「AirQuality=空気の質」の重要性を発信しています。

※お知らせ 11/20(水)から東京ビッグサイトで開催されるHOSPEXJAPAN2019に出展致します。

詳しくはHPをご覧ください

